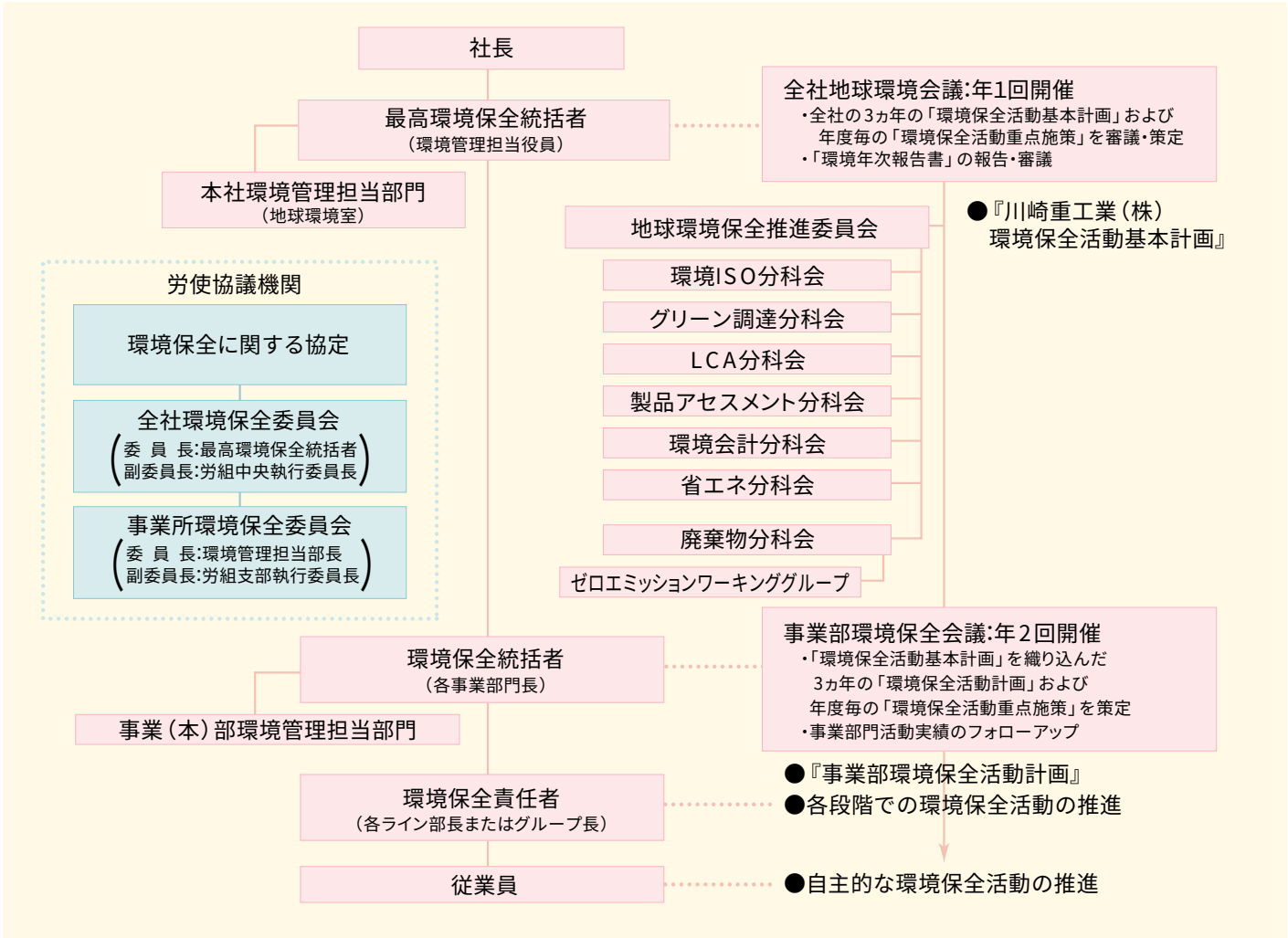
環境管理体制

全社の環境保全活動は、「最高環境保全統括者」（環境管理担当役員）が、統括しています。毎年1回「全社地球環境会議」を開催し、3ヵ年の「環境保全活動基本計画」、および年度毎の「環境保全活動重点施策」を審議・策定します。各々の事業部門においては、「環境保全統括者」（各事業部門長）が、それぞれ3ヵ年の「環境保全活動計画」および年度毎の「環境保全活動重点施策」を策定します。また年に2回「事業部環境保全会議」を開催して、活動のフォローアップを実施しています。

◆環境管理組織

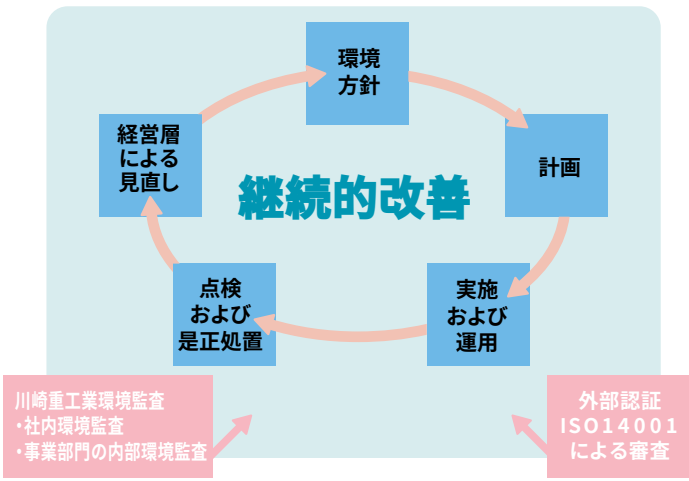


環境マネジメントシステムの運用状況

環境経営に取り組むための仕組みとして、ISO14001に基づく環境マネジメントシステム（EMS）を構築し、各々の事業部門で運営しています。今後は、さらにシステムの効率的な運用を推進していきます。

また環境マネジメントシステムの一環として、ISO14001の認証取得や環境監査を実施し、環境保全活動の向上を目指して継続的に取り組んでいます。

◆環境マネジメントシステム



環境監査

環境マネジメントシステムを継続的に改善する上で、「環境監査」は重要であり、独自の環境監査を実施しています。環境監査には、本社地球環境室が全事業部門に対して実施する社内環境監査、また各々の事業部門が実施する内部環境監査があります。さらに社外の審査登録機関によるISO14001の審査を受けるなど、3段階にわたる監査により、客観的に適正な評価を行い、環境マネジメントシステムの向上に取り組んでいます。

ISO14001認証取得活動

2000年度は、6事業部門（建設機械・産機プラント・坂出造船・破砕機・機械・パワープラント）が認証を取得しました。これまでに取得した事業部門との合計で11事業部門となりました。工場におけるISO14001認証取得は2001年度に完了する予定です。

事業部門	取得状況
精機事業部	**1998年2月取得**
環境装置事業部	**1999年3月取得**
鉄構・機器事業部	**1999年11月取得**
汎用機事業本部	**2000年2月取得**
ガスタービン事業部	**2000年3月取得**
建設機械事業部	**2000年5月取得**
産機プラント事業部	**2000年7月取得**
船舶・坂出造船工場	**2000年8月取得**
破砕機事業部	**2000年9月取得**
機械事業部	**2000年12月取得**
パワープラント事業部	**2001年2月取得**
車両事業部	2001年度中取得予定
航空宇宙事業部	2001年度中取得予定
合計	**11事業部門取得**

社内環境監査

本社地球環境室では、事業部門における環境パフォーマンスを中心に監査しています。その結果を「環境年次報告書」にまとめ、全社地球環境会議に報告・審議し、業務の改善に努めています。

対象部門	各事業所・工場・事務部門を含めた全社23部門
実施期間	2001年2月20日～2001年3月28日
監査内容	1. 2000年度の環境保全活動計画および重点施策の実施状況の確認 2. 環境パフォーマンス評価の結果確認 3. 2001年度の環境保全活動計画および重点施策について 4. 実地立ち会い 5. 監査結果を報告書として、対象部門へ提出 6. 改善・対策結果を回答書にて確認

事業部門の内部環境監査

事業部門においては、環境マネジメントシステムの計画に基づき、自主的に内部監査しています。各々の事業部門内に環境監査部門を設置し、客観的な評価を行います。また結果を監査報告書としてまとめ、不適合な項目については、是正処置を行い、フォローアップ監査を実施するなど、継続的な改善を図っています。

●監査内容

1. 法規制および自主規制の遵守状況
2. 環境マネジメントシステムの規定・基準類と実務の整合性
3. 環境マネジメントプログラムの進捗状況と達成度の確認
4. 是正処置および予防処置の実施状況の確認

内部環境監査員の育成

当社では、環境マネジメントシステムの構築を行う人を対象に、システムの理念や考え方、ISO14001規格を理解するための研修を実施しています。研修内容は、地球環境問題の現状認識からISO14001の動向、関連法規制、監査技法など多岐にわたります。実践的な演習や修了試験なども実施し、受講者は、研修終了後には、事務局から内部環境監査員として認定されます。1996年から2000年度までに796名が認定されました。

◆研修内容

講　義	1. 地球環境問題とISO14000sの動向 2. ISO14001規格の解説 3. 日本の適合性認定協会（JAB）の動向 4. 日本の環境保全関連法令および条例 5. ISO9000sからISO14000sへの展開
	「環境監査技法」 ・監査技法 ・ECAR*,ECM*の作成要領
演　習	・ケース・スタディ（不適合の摘出） ・ボードワーク（ケース・スタディの答え合わせ） ・ECARを作成 ・ECARのレビュー
テスト	・修了試験

*ECAR:是正処置要求書（Environmental Corrective Action Request）
ECM:環境コミュニケーションメモ（Environmental Communication Memo）